

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞ 新しい神経障害性疼痛スクリーニングツールの開発

＜研究機関・研究責任者名＞

日本大学医学部医学科整形外科学分野 助手 古屋智裕

＜研究期間＞

機関の長の初回許可日 ～ 令和 12 （西暦 2030 ）. 年 3 月 31 日

＜対象となる方＞

日本大学医学部附属板橋病院整形外科外来を初回受診した 18 歳以上、且つ疼痛を有する方

＜研究の目的＞

従来の痛みの質問票データを統合し、AI（人工知能）を活用した解析を行うことで、疼痛の診断精度を向上させる新たな質問票の開発を目指します。整形外科外来では、初診時に Pain Detect ,BS-POP の質問票を通常使用しております。これらの結果を統合し AI による解析を行なうことにより、より精度の高い新しいスクリーニングツールを作成することを目的とします。

＜研究の方法＞

1 日本大学医学部整形外科外来を初回受診した 18 歳以上の患者さんを対象に患者用 BS-POP、Pain Detect の 2 種類の質問票を記載して頂きます。

2 診察後、担当医師が BS-POP（医師用）を記載し、疼痛が神経障害性疼痛か侵害受容性疼痛か、不明かを選択します。

3 質問票と医師の診断を日本大学理工学部へデータを送付し、AI を用いて解析を行います。

＜研究に用いる試料・情報の項目＞

Pain Detect・BS-POP の質問票、年齢、性別、手術歴、内服薬、リハビリ歴など

＜外部への試料・情報の提供の方法＞

個人情報（名前、ID）を匿名化し大学のクラウドに保存致します。

＜試料・情報の提供を開始する予定日と、提供を行う機関およびその長の氏名＞

情報が集まり次第、日本大学理工学部理工学研究所（責任者：吉開範章）に提供し、AI による解析を致します。

＜研究を実施する機関組織＞

日本大学医学部整形外科分野 整形外科 助手 古屋智裕

日本大学理工学部理工学研究所 上席研究員 吉開範章

＜お問い合わせ窓口＞

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

整形外科 氏名：古屋智裕

電話：03-3972-8111 内線：（医局）2493 （PHS）8238

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方